



主 催： さっぽろバイオクラスター“Bio-S”、財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）
共 催： 北海道、札幌市、経済産業省北海道経済産業局、北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会
後援（予定）： 北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学、北海道バイオ産業 クラスター・フォーラム
協 力： 北海道バイオ工業会

第2回 さっぽろ バイオクラスター 国際シンポジウム

本シンポジウムでは、食の領域でのクラスターづくり及び産学連携に携わっている、北米・欧州・オセアニアの関係者から基調講演をいただき、パネルディスカッションでは、今世界で話題となっている健康表示をテーマに内外の動向を踏まえて討論していただく予定です。札幌周辺を核とする道央地域に大学等の「知」をベースにした健康科学産業クラスターづくりを目指す我々は、このシンポジウムをベースとしながら、国際連携を更に深めていきたいと考えております。産学官の関係者のご参加をよろしくお願い致します。



Prof. Rickey YADA

所属 カナダ グエルフ大学教授

略歴

1984年ブリティッシュ・コロンビア大学食品科学分野で博士号取得。
卒業後、カナダ・グエルフ大学アグリフードプログラム研究部門副代表、食品科学部門長として同業団体長となり現在に至る。
カナダ食品タンパク質機構研究部教授・部門長、AFMNetリサーチディレクターを兼務。
数多くの国レベル・国際レベルの研究に関する賞の審査会・委員会にも名を連ねている。
1992～1998年まで、国際的な食品研究雑誌の編集長を務め、最近では複数の雑誌の編集委員をしながら「北米の食品科学の動向」の編集も行っている。
カナダ・食品科学技術機構及び国際食品科学技術学術団体・共同体の評議員でもある。
著作としても、複数の本の章や140以上の出版雑誌に及んでいる。



Dr. Kieran ELBOROUGH

所属 ニュージーランド プラント&フード リサーチ インスティテュート ゼネラルマネジャー

略歴

スコットランド・ダンディー大学で微生物学・微生物遺伝学の学位取得。その後インペリアル・カレッジ・ロンドンにて博士号取得。
彼の専門分野は多岐に亘っており、微生物学・ガン研究の生化学・植物分子生物学・脂質生化学・バイオプラズマ・植物や反芻動物のゲノム研究・国の環境保護機関で遺伝子組換え・危害物質の規制など幅広く活躍中。
2004～ ニュージーランド政府・環境リスク管理局ディレクター。
2009～ NZ植物・食品研究所の Science-Food innovationのゼネラルマネジャー兼務。
2010～ Biopolymer Network Ltd. のディレクター兼務。



Mr. Geoffroy TRINH

所属 フランス ヴィタゴラ 国際開発担当

略歴

バリ政治学院で修士課程を修了後、ヴィタゴラ・クラスターに参画。経済学を専攻し、「フランスの競争的優位性と魅力」が専門である。
国際的活動として、カリフォルニア大学ロサンゼルス校で研究活動を行い、日本でフランス貿易業務に従事した。
現在、ヴィタゴラ・フレンチフードクラスター 国際開発・アジア地域代表。

※(ヴィタゴラ・フレンチフードクラスターは、農作物ビジネスに「味覚―栄養―健康」に関する科学的研究に特化したフランスのクラスター。)

プログラム【同時通訳あり】

13:00～13:10	開会の辞 …………… (財)北海道科学技術総合振興センター …………… 北 海 道
13:10～13:15	来賓挨拶 …………… 文部科学省科学技術・学術政策局 科学技術・学術戦略官 増子 宏
13:15～13:25	開催にあたって …………… さっぽろ バイオクラスター “Bio-S” 事業総括 鈴木 文夫

I 基調講演 “知から実用化へ、世界の事情紹介”

- ①13:25～14:10 「機能性食品研究でのネットワーク」
…………… カナダ グエルフ大学 教授 Prof. Rickey YADA
- ②14:10～14:55 「ニュージーランドでの食品商品化への研究戦略」
…… ニュージーランド プラント&フードリサーチ インスティテュート ゼネラルマネジャー Dr. Kieran ELBOROUGH
- ③14:55～15:40 「ヴィタゴラでの消費者を第一に考える革新的戦略(味覚・栄養・健康)」
…………… フランス ヴィタゴラ 国際開発担当 Mr. Geoffroy TRINH

15:40～15:55 休 憩

II パネルディスカッション “健康表示について”

15:55～16:00 挨拶…………… 経済産業省北海道経済産業局

座長:さっぽろバイオクラスター“Bio-S” 事業総括 鈴木 文夫

(1) 16:00～16:40 パネリスト招待講演

- ①「健康表示の科学的根拠に関する国際比較」…………… 名古屋文理大学健康生活学部 教授 清水 俊雄
- ②「健康表示の日本及び北海道の取組み」…………… 北海道バイオ工業会 会長 小砂 憲一

(2) 16:40～17:40 パネリストによる意見交換

パネリスト:

- グエルフ大学 教授 …………… Prof. Rickey YADA
- プラント&フード リサーチ インスティテュート ゼネラルマネジャー …………… Dr. Kieran ELBOROUGH
- ヴィタゴラ 国際開発担当 …………… Mr. Geoffroy TRINH
- 名古屋文理大学健康生活学部 教授 …………… 清水 俊雄
- 北海道バイオ工業会 会長…………… 小砂 憲一
- ILSI JAPAN(特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構) …………… 橋本 昭栄

17:40～17:50 閉会の辞…………… 札 幌 市

III 交流会

18:00～19:30
札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階 屈斜路
会費:3,000円(会費は当日会場受付にて申し受けます)